

ASIA

アジア・マーケットレビュー

2015 4/15

Vol.27/No.7

Market Review

グローバルアジアのビジネス・リスク分析



朝からの授業が終わり、迎えに来たお父さんと一緒に帰ります。重いカバンは持ってもらっちゃう。(マニラ郊外、フィリピン)

■ フォーカス

日本公庫が海外進出支援で新サービスを発足
豊永厚志専務・中小企業事業本部長に聞く

■ 我が社の
アジア戦略

鹿島道路、ASEAN事業の強化加速
ベトナムに現地法人を設立

■ バンコクレポート

タイ新車販売の低迷が続く
今年10月からの回復に期待か

「アジアのビジネスに欠かせないニュース満載の Web サイト」

→ <http://amr-net.jp/mg/>

ミャンマーで日本人不在の機械設計で成功した豊橋設計

「日本人ゼロ。ミャンマーの若い女性だけで機械設計のCAD(コンピュータ支援設計)をこなしている日系企業がヤンゴンにある」「ミャンマーに進出してまだ2年足らずなのに、すでに日本よりもスキルが勝っている」などと聞き及んでいた豊橋設計(とよはしせっけい、愛知県豊橋市、資本金 1,000万円)のミャンマー法人「Myanmar Toyohashi Engineering Co.,Ltd.にわくわくしながらでかけた。その会社はヤンゴンのチャイナタウン近くのローカル向け大型ショッピングセンターであるニューピンレイゼイの隣に並ぶエレベーター無しのビルの5階にあった。会社の住所についてはインターネットの地図で見当をつけて出かけてきたものの、小さな名もないビルが並んでいる下町の一角なので、「もし間違った階段なら隣のビルの階段をまた5階まで登るのはしんどいなあ」と感じながら昇っていくとそこに「Toyohashi」の名を見つけてほっとした。ドアを開けて部屋に入ると3人のミャンマー女性だけがあり、日本とスカイプでつないだままの画面の横で仕事で、画面では日本の社長らがアポをとっていた私のインタビューを待っていて下さった。筆者は長年記者をしているが、すべてスカイプを通じての取材は今回が初めて。

豊橋設計の内山幸司社長は大学卒業後の9年間で設計会社の設計職として務め1992年に機械、電気、ソフトウェアの部門で製造業を支援する総合エンジニアリング会社として豊橋設計を設立した。ミャンマー法人をスタートしたのは2013年5月。現在の内山社長は「ミャンマーに行くのは2カ月に1度だけで、行けば毎回2週間ほどヤンゴンに滞在している」という。ミャンマーに豊橋設計のほぼ全額出資会社を設立したのは「日本の少子高齢化がますます進むので人材の採用が難しくなる」(内山社長)ことへの対応策だった。現在の豊橋設計の日本での従業員数は約100人で内90人がエンジニア。「日本の仕事のオフショアを手掛ける海外拠点を作ろう」と2013年の年初から検討を開始した内山社長だが、中国とタイとベトナムも進出先として検討、とりわけベトナム進出について可能性を見出そうとしたが、「ベトナムではソフト業界ですでに競争が激しい現状であるから敬遠してミャンマーに決めました」(同)という。

Myanmar Toyohashi Engineering Co.,Ltd.では2013年4月に初めての従業員面接を行い5人のミャンマー人を採用したが、1人が家庭の事情で退職した以外は全員が現在でも働いている。内山社長は採用を決め

た従業員の親が住む実家へも出向いて挨拶回りをしており、ヤンゴンから遠いミャンマー中部のマグウェ出身の従業員の実家にも出かけてきた。

ミャンマーでも従業員のスピニアウトが増えているが内山社長は「当社のミャンマー人従業員は定年退職時までいてくれるものと信じている」という。これまで2年間の経験を経て内山社長は、「同期入社日本人従業員と比べたミャンマー人の技能習得能力は、ミャンマー人従業員には日本語修得の学習などに取られる時間があるというハンディを考慮すればミャンマー人のスキルが上回っています」と言う。

4人の従業員の内の1人は現在、日本の本社で研修中。「せっかく入社してくれた人たちだから平等に扱います。入社してくれた全員が、日本企業を就職先として選んでくれたのは、日本語がものにでき、日本に行くことができるチャンスがあることを期待しているから。だから全員を交代で平等に日本に呼んでいます。現在、日本で長期研修しているのは4人の内では最後の人です」と内山社長は説明する。

ミャンマーで会社を立ち上げた当初ではミャンマー人の日本語の先生に来てもらって毎週月曜と水曜には



内山社長

8時間の日本語学習をしていたが、現在では週に2回でその日は2時間の日本語学習をしている。「受注も順調に増えてきているので近く7人体制への増員を考えている。今年9月頃には新しい事務所に移転したい」と内山社長は計画している。

これまでミャンマーでこなしてきた仕事で多いのは、日本の中部地区の自動車組立メーカーのラインの中に組み込まれて使われる高性能部品の設計関係の仕事。日本の本社で2次元で設計したものをミャンマーで3次元データに変更したり、3次元で設計された設計図からその部品を工場のマシニングセンター(MC)と呼ばれるコンピュータ制御の工作機械に読み込ませるデータを作った

りしている。コマンドまで日本語で書かれたソフトをミャンマー人従業員が扱っている。

豊橋設計では「機械設計」「電気・電子制御設計の電気・電子部門」「ソフトウェア開発部門」「製品の品質向上および工場設備の合理化を支援する生産技術部門」「企業・行政の教育支援、CADスクール運営の教育部門」「技術者派遣部門」にわけている。豊橋設計では10年ほど前から自前の研修センターがあり研修寮もある。「まずモノの構造を頭に叩き込んでしっかり描けるようにまず2次元CADで製図を学んでもらう。CAD操作はどのCADでも基本的に同じ。操作よりも設計することに熱い思いを持ってもらいたい」というのが同社の考え方。具体的には国産のアンドール社の「CAD SUPER FX」という2次元CADシステムをメインに豊橋設計が自社開発した各種プログラム(作図補助プログラム、部品表集計プログラム)を組み合わせて設計工程を極限まで抑え、なおかつ設計者が設計自体を熟考できる環境を整えている。

このため経験豊富な同社のエンジニアがあらゆる専用機的设计も可能で、作業者の立場に立って設計ができていくという評価を得ている。CATIA V5が30台、Solid Works、ICAD SX、ZW3Dといった3次元CADも導入しており、客先への「3D CAD講習」も実施している。

これまでの実績では、基板、自動車部品などの測定検査、組み付け治具、リークテスター、騒音検査、ギアASSY性能などのテスター装置、シール材などの塗布・塗装装置、圧着装置、圧入装置、油圧プレ

ス装置、切削機、研磨機(バブ研磨など)、各種ワークストッカー、マシニングセンター用治具、溶接など各種ロボットシステム、自動車部品など各種組立装置、新製品開発業務、化学プラントなどの配管なども手掛けている。

タイにも進出を計画

同社に依頼してくる企業は大手の日本企業(製造業)で、自動車工場の中の組立ライン、エンジン製造のライン、部品工場などのラインで使われる部品や機構のデータ作り。東南アジアのデトロイトともされるタイには日本の製造業に限っても数千社が進出しているが、豊橋設計にもタイの日系企業からの依頼が増え、Myanmar Toyohashi Engineeringではタイ向けの仕事もこなす予定がある。「当社にとってミャンマーに次ぐ拠点はタイになります。近くタイに現地法人を設立し、タイの日系企業向けの設計拠点にするとともに、タイで新規受注も取得する営業活動も開始し、日本、ミャンマー、タイを結んだ豊橋設計の業務のネットワーク化を構築していきたい」と内山社長は計画している。

筆者の取材に合わせて日々のミーティングも実施してくれた。内山社長の他、スカイプを通じてミャンマー事務所日々の仕事の指示を出している技術総括部の佐伯竜一郎長とのやりとりでは、日本の本社のタブレットで画面に書き込むとヤンゴン事務所のモニターにも同じものが映しだされ、画面を切り替えてコミュニケーションもできる。佐伯部長からの指示に続き、ミャンマーの3人は交代で全員がこの1日に起きたことを日本語で報告した。ある従業員は、「昨日は仕事後にヤンゴンにオープンしたばかりのタイ式しゃぶしゃぶが食べ放題のタイのオイシという店に友人と行ってきました。1人1万5000チャット(約1500円)と高かったがおいしかった」といった前夜のプライベートについても報告していた。

スカイプインタビュー後のヤンゴン工科大学卒など3人の若い女性エンジニアは筆者の追加質問にまったく物怖じせずにはっきりとした日本語で即答、日本の一般的な若者より



日本本社にいる内山社長とテレビ会議中



日本本社内のコントロールセンターがミャンマーと結んでいる

しっかりしているという印象を受けた。会社への希望として「給与は高ければ高いほどよいに決まっています」「現状で大きな不満はなく仕事が楽しい。しかし通勤は混雑するバスで1時間以上かかって疲れる。車を会社で用意してもらいたい」などと語っていた。

株式会社豊橋設計

本社〒440-0842 愛知県豊橋市岩屋町岩屋下45-2

代表取締役：内山幸司社長(Uchiyama Koji)、青山明弘(Aoyama Akihiro)専務
設立1992年9月 資本金1,000万円
業務内容：機械設計、電気電子設計、ソフトウェア開発、生産技術支援、治工具設計製作、シーケンス、3Dドキュメント製作、e-Learning製作・実験、解析DMU、シミュレーション、教育事業、CAD教育、設計教育・教育講師、一般労働者派遣事業、海外事業等、通訳翻訳

豊橋設計のWEB：<http://www.toyohashi-s.co.jp/>

Myanmar Toyohashi Engineering Co., Ltd. : No.37,5th Floor 16th Street,7 ward,Lanmadaw TSP,Yangon, 11131 Myanmar
TEL : +95-942-10-18412
E-mail : Myanmar@toyohashi-s.co.jp

(アジア・ジャーナリスト 松田 健)



豊橋設計のあるビルへの入口